

まぐろから見える世界

(社)責任あるまぐろ漁業推進機構顧問 原田雄一郎

26



水産資源の持続性を 続性が保証されている ケは販売しないことと 消費者の購買力によつて 水産物以外の販売しな くなった。これに対して、 て、実現しようとする いの方針を打ち出し アラスカ業界は、ア 水産物エコーラベル。数 ている。だが、今、こ ラスカのサケ漁業は、厳 種の水産物エコーラベル の方針が、アラスカ・ 格に管理され、資源の が、おのおの、自己の サモンによってチャ 持続性が確保されてい る。MSCエコーラベル メリットを主張し、鎬 レンジンされている。 MSCエコーラベル (し)の(き)を削って る。中でも、そのパイ オニアのMSC(海洋 管理協議会)ラベルは、 今や2万種以上の水産 物をカバーしていること 称している。

水産物エコーラベルとマグロ

RFMO機能で持続性確保

全米で、4000店 以上を有する小売業の ジャイアントといわれ ているウォルマート (WM)は、MSCラベルによって資源の持



◆MSC離脱のアラスカ・サケ業界

事の発端は、アラスカ のサケ業界が、MS 筋なども巻き込んで、 WMにその方針の修正 を求めている。アラスカ グロは、多くの国で、 別のラベルに乗り換え たことにある。この結 果、WMは、自らの方 針に下りアラスカのサ

て検討することとして を水産物エコーラベル対 MOの定めた管理措置 管理能力の衰退、喪失 いるようだ。WMの対 象漁業の資格ありと認 守らる。資源の持続 性を阻害するIUU 類保存委員会は、クロ エコーラベルの認証基準 漁業が資源管理措置を (違法・無規制・無報 告)漁業の獲ったマグロ の管理能力の有 無を問われたが、厳し が緩み、結果的に、消 守らる。乱獲を行え ば、そのマグロの持続 性は確保できない。 資源の持続性を確保し ルへの信頼性も揺らぐ ことなる可能性もあ マグロ資源の保存・ 効果はない。世界中の た。

◆エコーラベルに 関わらないマグロ

「水産資源の持続性」 をエコーラベルで表現し 口漁業の努力のみで、 管理は、そのマグロ資 源を利用する全ての関 係国が、協力して管理 措置を実行して、初め は流通し続ける。IUU 効果は上がる。一部 U 漁業を廃絶すること もできない。

水産物エコーラベルの 利用は流通業者の意 思に委ねられており、 世界の市場から一斉に IUUマグロを締め 出すことはできない。 この点、RFMOの定 めた管理措置を守ら ない国は、RFMOに 場を待つまでもなく、 中西太平洋で生産さ れるマグロ類は世界の 消費者からそのほを向

その持続性は確保でき ない。地域漁業管理機 関(RFMO)が各水域 に設置されマグロ資源 の保存・管理に責任を 負っているゆえんだ。 は世界の市場から締 め出される。このメカ ニズムが確実に機能し なければ、マグロ資源 の持続性は確保でき ない。加盟国間の不協 和音を乗り越えて、12 月の年次会合で同水域 のマグロ資源の持続性 を確保する管理計画が 策定されることを切望 する次第だ。

◆RFMOのCC

マグロ流通阻止 ◆ 問題には、RFMOの 管理能力衰退 ◆ 問題は、RFMOの (毎月一回掲載)

◆問題RFMO

管理能力衰退 ◆ 問題は、RFMOの